

事業所名 グループホーム ほほえみ

日付 平成 19年 12月 22日

評価機関名 有限会社 アウルメディカルサービス

評価調査員: 薬剤師・介護支援専門員
大学教員

自主評価結果を見る (工事中)

評価項目の内容を見る

事業者のコメントを見る(改善状況のコメントがあります!)

1. 評価結果の概要

講評

全体を通して(特に良いと思われる点など)(記述式)

昨年度、地域との交流が不足しているのではないかと伝えたと、今年度はグループホーム前の大きなスペースで地域の住民も参加した芋煮会を行いました。当初の予想の倍以上の住民が参加し大いに盛り上がったようです。また、保育園の発表会をやってもらえるように交渉中とのこと、その他いろいろ企画しているようです。ユニット間の通路を板張りの広いスペースにし皆が憩える場所にしていきました。両ユニットの交流に役立っています。申し送りに使う連絡ノートはユニット間で交換し入居者の状態の把握に役立っています。

管理者は、現状に満足することなく、サービスの質の向上に意欲的です。まだ、理想のケアのあり方については模索中ですが、先進的なホームの取り組みを見学することで今後サービスの質の一層の向上が期待できます。職員はお年寄りが好きで、穏やかな声かけを通じてお年寄りの会話や感情を引き出すことをこころがけています。入居者一人ひとりの特性を踏まえた対応がなされています。

特に改善の余地があると思われる点(記述式)

職員と一緒に食事を取っていません。そのため、入居者間の会話が全く無いのが残念です。転倒や受診などの情報はきちんと伝えていますが、それ以外の入居者の状態像や生活の様子が家族にあまり伝えられていません。電話などで定期的に入居者の様子を伝える必要があります。ユニット間で職員の意欲の差を感じます。一方のユニットは歌を歌ったり楽しい雰囲気です生活していますが、もう一つのユニットは会話が少なくなります。調査に行った我々に対して入居者はよくしゃべっていましたので出来ることはあると思います。

2. 評価結果(詳細)

I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	具体化、実現及び共有		
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か		
記述回答	お年寄りから会話・感情を引き出すような接し方をすること、お年寄りがリラックスして、穏やかに過ごせる環境を整えることを心がけています。地域との交流を大切に、芋煮会の開催やボランティアの受け入れを積極的に行っています。他のグループホームの取り組みを見学するなど、より良いケアを行うための研鑽に努めています。お年寄りが好きで協調性のある職員の採用を行うことで、介護の質を保っています。		

II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り		
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり		
4	建物の外回りや空間の活用		
5	場所間違い等の防止策		
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か		
記述回答	豊かな自然に恵まれた環境を利用し、ドングリや木の葉で季節感を出しています。紙のぼんぼりの電燈が穏やかな雰囲気を漂わせています。日常生活の中で言葉かけをして一緒に生活してもらっています。昔農家をしてきたことが多い入居者にとって畑やグループホームの周りの草取りをすると落ち着くようです。		

III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映		
7	個別の記録		
8	確実な申し送り・情報伝達		
9	チームケアのための会議		
10	入居者一人ひとりの尊重		
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ		
12	入居者のペースの尊重		
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援		
14	一人でできることへの配慮		
15	入居者一人ひとりにあわせた調理方法・盛り付けの工夫		
16	食事を楽しむことのできる支援		
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援		

III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮		
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援		
20	プライドを大切にした整容の支援		
21	安眠の支援		
22	金銭管理と買い物の支援		
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保		
24	身体機能の維持		
25	トラブルへの対応		
26	口腔内の清潔保持		
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応		
28	服薬の支援		
29	ホームに閉じこもらない生活の支援		
30	家族の訪問支援		
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か		
記述回答	排泄をはじめ、基本的に自分で出来ることは自分でしてもらい、職員の都合で過剰な介護をすることはありません。洗濯物たたみや草取り、料理など、入居者の主婦としての経験を活かした生活リハビリが行われています。ケア会議では利用者のプライバシーに関することも話されますが、それが他の利用者に聞かれることがないように配慮しています。		

IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映		
32	災害対策		
33	家族の意見や要望を引き出す働きかけ		
34	家族への日常の様子に関する情報提供		
35	運営推進会議を活かした取組		
36	地域との連携と交流促進		
37	ホーム機能の地域への還元		
記述項目	サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か		
記述回答	管理者は、現状に満足することなく、サービスの質の向上に意欲的です。全職員参加で2ヶ月ごとに勉強会をしています。また、理想のケアのあり方については模索中ですが、先進的なホームの取り組みを見学することで、今後サービスの質の一層の向上が期待できます。お年寄りから会話・感情を引き出すことを心がけています。お年寄りが好きな職員による穏やかな声かけがなされています。		